

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート
鶴田地区

平成26年5月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	宇都宮市		地区名	鶴田地区			面積	129.1ha	
交付期間	平成21年度～25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	3,396.5百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	・土地区画整理事業(鶴田第2地区) ・公園事業(鶴田第1地区内 街区公園1箇所, 鶴田第2地区内 街区公園1箇所)								
			提案事業	・事業活用調査(鶴田第1地区, 鶴田第2地区) ・まちづくり活動推進事業(鶴田第2地区)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	・事業活用調査 ・まちづくり活動推進事業		都市再生整備計画で実施しなかったため、事業を削除		なし				
	新たに追加した事業		基幹事業	・河川改修事業(準用河川駒生川)		都市型浸水被害の解消を図るため事業を追加		なし				
			提案事業	なし								
交付期間の変更		当初	平成21年度～25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	狭隘道路率	%	48	H20	16	H25	21	△	あり ● なし	目標値は未達成となったが、土地区画整理事業による道路整備に伴い、幅員4m以下の狭隘道路率は減少し、生活道路の安全性が改善しており、近年の傾向より改善したと認められる。	平成26年4月
	指標2	居住人口	人	2,610	H20	2,720	H25	2,816	○	あり なし	土地区画整理事業による基盤整備に伴い、住環境が向上し、居住人口が増加した。	平成26年4月
	指標3	避難圏域率	%	74.1	H20	77.7	H25	77.7	○	あり なし	街区公園の整備により、避難圏域が拡大し、地域の防災性が向上した。	
指標4	生活環境満足度	%	29	H20	54	H25	49	△	あり ● なし	目標値は未達成となったが、土地区画整理事業の進捗により、生活環境満足度は増加しており、近年の傾向より改善したと認められる。	平成26年5月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	溢水想定箇所の減少	箇所	14	H20		1			土地区画整理事業の進捗により、水路が整備され、排水状況が改善し、溢水想定箇所の減少が図られたことで、良好な生活環境が構築された。		
その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	公園整備計画を策定するにあたり、市民と協働でワークショップを行ったことで、地域住民のニーズを公園整備に反映することができ、公園に対する市民の愛着が深まった。また、幅広い年齢層に利用され、地域コミュニティの形成につながった。											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	事業の中間検査(モニタリング)の実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ●							
	住民参加プロセス	公園整備計画の策定過程におけるワークショップの開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				ワークショップへの参加を通し、地域活動に関心をもってもらい、公園愛護会活動への積極的な参加へつなげていく。			
持続的なまちづくり体制の構築	地域住民との直接の対話を通じたまちづくりに対する意識の向上			都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				引き続き、地域住民のまちづくりに対する意識の向上を図り、地域住民主体のまちづくり活動へつなげていく。				

様式2-2 地区の概要

鶴田地区(栃木県宇都宮市) 都市再生整備計画の成果概要

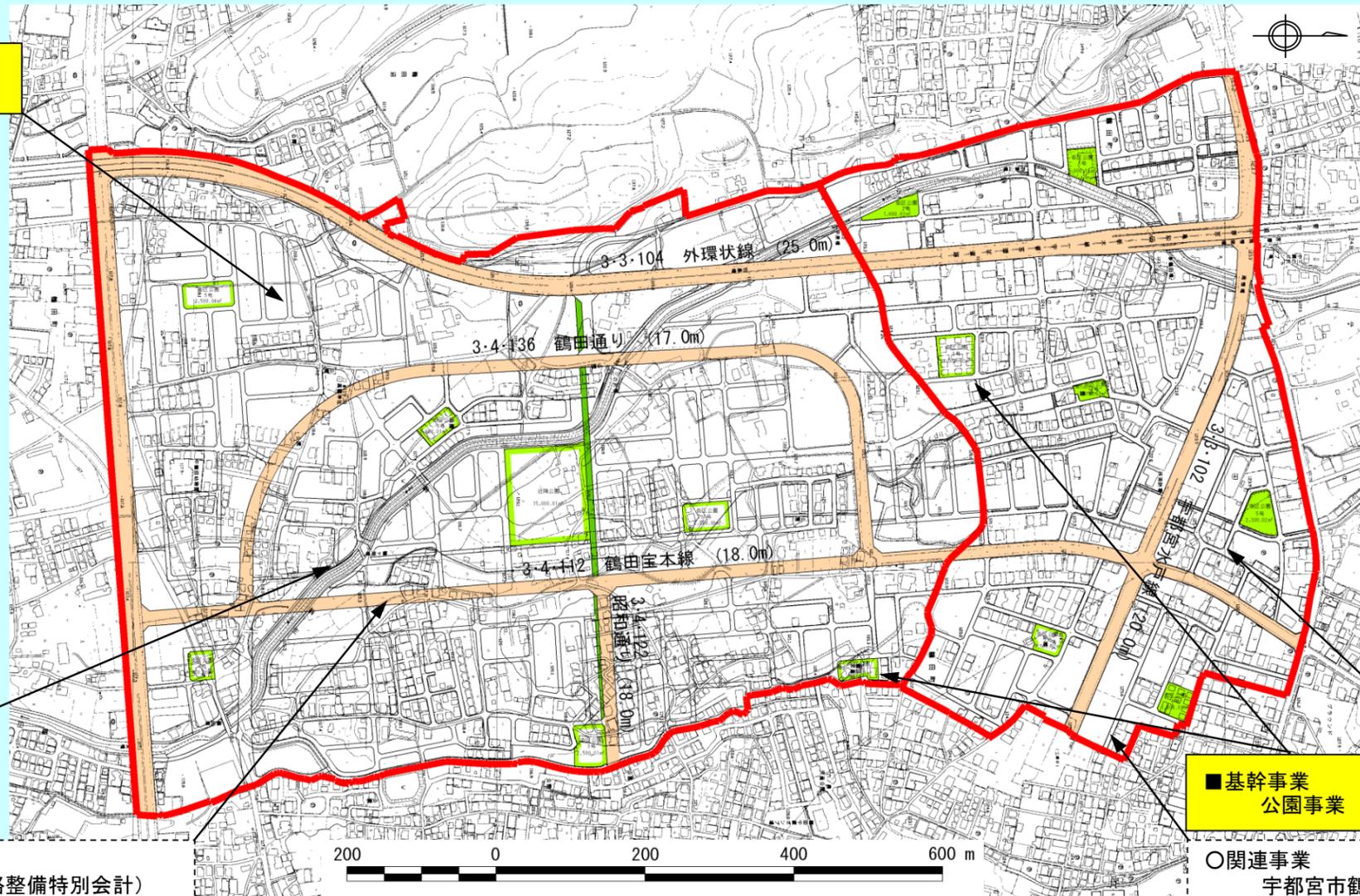
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 人々にやさしく 安心・安全で快適なまちづくり	狭隘道路率	48 H20	16 H25	21 H25
目標1 道路網整備を推進することで、人々が日常的に利用する生活道路の安全性及び利便性を向上させ、暮らしやすい道路環境を確保する。	居住人口	2,610 H20	2,720 H25	2,816 H25
目標2 総合的な面整備を推進することで、計画的・効率的な土地利用を推進すると共に、快適な生活環境を確保する。	避難圏域率	74.1 H20	77.7 H25	77.7 H25
目標3 街区公園整備を推進することで、防災空間を確保すると共に、災害に際し、地域住民の一時的な避難場所としての利用が可能となることで、地域の防災性の向上を図る。	生活環境満足度	29 H20	54 H25	49 H25

■基幹事業 土地区画整理事業(鶴田第2地区) 86.2ha



■基幹事業 準用河川駒生川改修事業

○関連事業
宇都宮鶴田第2土地区画整理事業(道路整備特別会計)



■基幹事業 公園事業 2箇所

○関連事業
宇都宮市鶴田第1土地区画整理事業(道路整備特別会計)

□提案事業
まちづくり活動推進事業

□提案事業
事業活用調査



○関連事業
宇都宮市公共下水道事業

まちの課題の変化

- ・土地区画整理事業による区画道路や歩行者専用道路の整備により、狭隘道路や行き止まり道路の解消と歩行者空間の確保が図られたことにより、生活道路の安全性や利便性が向上した。
- ・災害時に一時的に避難できる街区公園が整備されたことにより、地域の防災性が向上した。
- ・土地区画整理事業や公共下水道事業、河川改修事業の一体的な整備により、安全で快適な生活環境が形成され、居住人口の増加が図られた。
- ・街区公園の整備にあたっては、地域住民と協働でワークショップを開催し、公園整備に反映することができた。
- ・狭隘道路や行き止まり道路の解消が進んできたことにより、地区内を通過する車の交通量の増加が予想され、歩行者や自転車の安全確保などの交通安全対策が求められている。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・今後も引き続き、鶴田第2土地区画整理事業により、公共施設の整備改善や宅地の利用増進を図り、計画的・効率的な土地利用を推進する。
- ・公共下水道事業と土地区画整理事業を一体的に施行し、生活排水の適正な処理を進めるとともに、雨水幹線の整備や河川の改修により、浸水被害を解消する。
- ・鶴田第2土地区画整理事業により、地区内における狭隘道路の解消を進めていく。
- ・街区公園を適正に配置・整備していくことにより、地域の防災性を向上させるとともに、地域住民に愛される憩いの空間を創造し、快適なまちづくりを進めていく。
- ・今後とも、地域住民や自治会と連携し通学時の安全確保を図っていくなど、ハード・ソフト両面からの総合的な交通安全対策を継続して進めていく。